地域健康学講座

1.領域構成教職員・在職期間

教授	井川　正道	R5.4.1から現職
特命講師	松永　晶子	R5.5.1から現職
特命助教	此下　尚寛	R6.4.1から現職

2.研究概要

研究概要

当領域では主として、以下の目的に基づき研究・活動を実施している。
①地域保健を中心とした、公衆衛生に関する専門知識・経験を持ち、多職種・地域連携を学び、地域保健を推進できる広い視野を有する人材の育成体制の構築
②健康福祉センター（保健所）への医師派遣、および公衆衛生医師を確保するための広報やリクルート活動への取組み
③平均寿命の順位低下要因など、地域ごとの健康課題の分析と対策の提案、遺伝性疾患などの難病対策や認知症予防の推進に関する専門研究と教育への取組み、および地域住民向け健康講座の実施、保健所職員の行う研究等への指導、助言
④その他、県民の健康維持・増進に関すること

キーワード

地域健康、地域保健、公衆衛生、保健所、人材育成、ビッグデータ研究、コホート研究、地域実践活動

業績年の進捗状況

1. 保健所を核とした地域保健を推進できる人材の育成・確保
福井県の健康福祉センター（保健所）に講座教員が勤務（併任）し、保健所業務を支援した。また、健康福祉センター（保健所）において医学科4年生（計110名）に学生実習を実施した。さらに、公衆衛生医師の確保を目指し、公衆衛生医師を目指す医師に対し、国立保健医療科学院での専門研修をサポートした。また、公衆衛生医師を検討している医師との面談や子育てドクターの会での紹介など、広報・リクルート活動を実施した。
2. 福井県・各地域における健康課題の分析と対策・実践活動
公衆衛生の向上に資する調査・研究として、医療ビッグデータ研究および地域コホート研究を開始した。具体的には、県および県内市町の健康課題分析のため、健診・医療・介護データの医療ビッグデータである国民健康保険団体連合会（国保連）データベース（KDB）を分析する体制を構築した。構築のため、福井県と受託契約を締結し（事業題目：データセンター構築およびデータ分析等事業）、KDBデータの受領、システム構築を完了させ、2024年10月より県の健康課題分析のためのデータセットを構築し、健康寿命の延伸を阻害する要因、特に急性心筋梗塞に関する分析を行った。分析結果を受託元である県健康政策課による「健康寿命の延伸を阻害する要因分析結果説明会」にて報告し、大きな反響を得た。また、厚生労働省から県・健康福祉センターに提供された本県民の死亡票および死亡個票データを基に、福井県の死亡の実態と背景の分析を進めた。福井市医師会の理事会にて「急性心筋梗塞および老衰に関する分析結果」を報告し、こちらも大きな反響を得た。
さらに、昨年度に続き「データヘルス計画モニタリング研修会」などに委員として出席・助言することで福井県における保健行政を支援した。

特色等

福井県からの寄附講座として、保健所を核とした地域保健を推進できる人材の育成・確保、および各地域における健康課題の分析と対策・実践活動を目指し研究・活動を行うことで、福井県の「地域健康」の推進に貢献している。

本学の理念との関係

当領域では、本学の理念である「人々が健やかに暮らせるための科学と技術に関する世界的水準での教育・研究を推進し、地域、国及び国際社会に貢献し得る人材の育成と、独創的でかつ地域の特色に鑑みた教育科学研究、先端科学技術研究及び医学研究を行い、専門医療を実践する」に合致すべく、地域保健を推進する研究、優れた公衆衛生人材の育成、地域に貢献する実践活動を実施し、「地域健康」の実現を目指す。

3.研究実績

区分		編数		インパクトファクター（うち原著のみ）	
		2018～2023年分	2024年分	2018～2023年分	2024年分
和文原著論文		0	1	—	—
英文論文	ﾌｧｰｽﾄｵｰｻｰ	0	0	0(0)	0(0)
	ｺﾚｽﾎﾟﾝﾃﾞｨﾝｸﾞｵｰｻｰ	0	0	0(0)	0(0)
	その他	0	5	0(0)	13.1(13.1)
	合計	0	5	0(0)	13.1(13.1)

(A) 著書・論文等

(1) 英文：著書等

a. 著書

b. 著書（分担執筆）

c. 編集・編集・監修

(2) 英文：論文等

a. 原著論文（審査有）

24001 Yamaguchi T, Hamano T, Sada K, Asano R, Kanaan NM, Sasaki H, Yen SH, Kitazaki Y, Endo Y, Enomoto S, Shirafuji N, Ikawa M, Yamamura O, Fujita Y, Aoki K, Naiki H, Morishima M, Saito Y, Murayama S, Nakamoto Y: Syk inhibitors reduce tau protein phosphorylation and oligomerization, Neurobiology of Disease, 201, 106656-106656, 20241015, DOI: 10.1016/j.nbd.2024.106656,

24002 Kishimoto T, Onishi H, Tsubouchi H, Mizukami Y, Kubota M, Ikeda R, Konoshita N, Tanaka T, Kobayashi K, Hayashi H, Yamamura O.: Association between upper limb muscle quality and kneeosteoarthritis in dynapenia: An observational cross-sectional study, Journal of Clinical Biochemistry and Nutrition, 75(2), 145-152, 202409, DOI: 10.3164/jcbn.24-58, #2

24003 Inoue T, Watanabe H, Matsuo H, Matsumura M, Ikawa M, Arishima H, Tsubokawa M, Kubota M.: Investigating the association between sitting ability, trunk electromyography, and sitting posturography in patients with acute stroke: A cross-sectional study, Gait & Posture, 113, 359-365, 202409, DOI: 10.1016/j.gaitpost.2024.07.293, #2.2

24004 Kazuki T, Hidenori O, Hiromasa T, Yasutaka M, Takahiro K, Tokuharu T, Naohiro K, Hiroyuki H, Osamu Y: Sarcopenia and triglycerides/high-density lipoprotein cholesterol ratio in older Japanese adults, Asian Journal of Gerontology & Geriatrics, 19(1), 15-20, 20240619, DOI: 10.12809/ajgg-2023-610-oa.

24005 Okazawa H, Nogami M, Ishida S, Makino A, Mori T, Kiyono Y, Ikawa M.: PET/MRI multimodality imaging to evaluate changes in glymphatic system function and biomarkers of Alzheimer's disease, Scientific reports, 14(1), 12310-12310, 20240529, DOI: 10.1038/s41598-024-62806-5, #3.8

b. 原著論文（審査無）

c. 原著論文（総説）

d. その他研究等実績（報告書を含む）

e. 国際会議論文

(3) 和文：著書等

a. 著書

b. 著書（分担執筆）

24006 松永　晶子: 橋本脳症: 今日の診断指針　第9版, 医学書院, 12-13, 20250210

24007 井川 正道: ミトコンドリア病: 最新主要文献とガイドラインでみる 脳神経内科学レビュー 2024-’25, 総合医学社, 384-389, 20250114

24008 松永　晶子,米田 誠: 甲状腺機能低下症: 症状性・器質性　精神障害診療ガイド, 精神科治療学, 12-13, 20241023

24009 北﨑 佑樹, 井川 正道: ミトコンドリア脳筋症・乳酸アシドーシス・脳卒中様発作症候群（MELAS）: Medicina, 医学書院, 283,304, 20240401

c. 編集・編集・監修

(4) 和文：論文等

a. 原著論文（審査有）

24010 新井田裕樹,大西秀典 ,水上保孝,久保田雅史,此下尚寛,田中徳治,竹部万由,川村晴水,岡本智子,柑本明美,坪内啓正,前田文江,木戸口周平,林寛之,山村修: 地域高齢者のダイナペニアにおける１日の平均歩数 の関連, 福井大学医学部研究雑誌, 25, 1-10, 202503, DOI: 10.34463/0002000358

b. 原著論文（審査無）

c. 総説

24011 松永晶子: 代謝・内分泌領域と脳神経内科疾患, 脳神経内科, 101(4), 378-383, 20241025

24012 松永晶子,米田誠: 橋本脳症と精神疾患, 臨床精神医学, 53(4), 503-509, 20240428

d. その他研究等実績（報告書を含む）

e. 国際会議論文

(B) 学会発表等

(1) 国際学会

a. 招待・特別講演等

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演（口演）

d. 一般講演（ポスター）

e. 一般講演

f. その他

(2) 国内学会（全国レベル）

a. 招待・特別講演等

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演（口演）

24013 村山圭,小川えりか,八ツ賀秀一,井川正道: ミトコンドリア病の診断と治療　up-to-date, 第66回日本小児神経学会学術集会, 愛知, 20240531

24014 Masamichi Ikawa: Increased brain oxidative stress related to amyloid deposition in patients with Alzheimer’s disease, 第65回日本神経学会学術大会, 東京, 20240529

24015 林寛之,伊藤有紀子,武藤理,山村真佐子,大野幸太,青木拓耶,此下尚寛,楠川加津子,田中徳治,村山公介,深谷一勤,新野保路,友田越人,比嘉航,國井恭世: あいまいな　めまい診療じゃ　いまいちよ　目指せ！あなたも　めまいマイスター！, 第15回日本プライマリケア連合学会学術大会, 静岡, 20240608

d. 一般講演（ポスター）

24016 野宮 廣貴, 堀内 祐介, 臼井 宏二郎, 眞田 采也加, 高久 直子,佐々木 宏仁, 山口 智久, 北崎 佑樹, 遠藤 芳徳, 榎本 崇一, 白藤 法道, 上野 亜佐子, 井川 正道, 山村 修, 根石 拡行, 菊田 健一郎, 山田 雅巳, 濱野 忠則: 進行性核上性麻痺におけるMRI中脳前後径測定の有用性の検討, 第65回日本神経学会学術大会, 東京, 20240529

24017 臼井 宏二郎, 上野 亜佐子, 勝木 歩, 佐々木 宏仁, 山口智久, 北崎 佑樹, 遠藤 芳徳, 榎本 崇一, 白藤 法道, 山村 修, 岡沢 秀彦, 濱野 忠則, 井川 正道: アミロイドPETが診断に有用であった非典型認知症の4例, 第65回日本神経学会学術大会, 東京, 20240529

24018 上野 亜佐子, 山口 智久, 臼井 宏二郎, 堀内 裕介, 勝木 歩, 佐々木宏仁, 北崎 佑樹, 遠藤 芳徳, 榎本 崇一, 白藤 法道, 井川 正道, 山村 修, 濱野 忠則: 脳脊髄液(amyloidβ 42/40比,p-tau,t-tau)のAlzheimer病と神経変性疾患との比較, 第65回日本神経学会学術大会, 東京, 20240530

24019 堀内 裕介, 遠藤 芳徳, 佐々木 宏仁, 北崎 佑樹, 榎本 崇一, 井川 正道,山村 修, 濱野 忠則: 当科で経験した特発性内頸動脈解離3例の臨床的検討, 第65回日本神経学会学術大会, 東京, 20240531

24020 Akiko Matsunaga: Proposal of a novel disease concept, anti-NAE antibody-associated disorders (NAEAD), 第65回日本神経学会学術大会, 東京, 20240531

24021 内田 待望, 高橋 望, 眞田 采也加, 浅野 礼, 佐々木 宏仁, 北崎 佑樹, 遠藤 芳徳, 榎本 崇一, 上野 亜佐子, 井川 正道, 山村 修, 吉田 好雄, 濱野 忠則: 多発性硬化症の妊娠・出産, 第36回日本神経免疫学会学術集会, 富山, 20241004

24022 中島 裕也, 大西 秀典,水上 保孝, 新井田 裕樹, 岡本 智子, 此下 尚寛, 田中 徳治, 久保田 雅史, 堀 秀昭, 松永 晶子, 井川正道, 小林 康孝, 林 寛之, 山村 修: 運動介入は要支援・要介護認定リスクを抑制するのか? 要支援・要介護リスク評価尺度を用いた前後比較研究, 第11回日本サルコペニア・フレイル学会大会, 東京, 20241103

24023 新井田 裕樹, 大西 秀典, 此下 尚寛, 田中 徳治, 岡本 智子, 久保田 雅史, 池田 涼子, 竹部 万由, 辻 季野, 川村 晴水, 水上 保孝, 柑本 明美, 坪内 啓正, 前田 文江, 中島 裕也, 岸本 貴宏, 木戸口 周平, 井川 正道, 林 寛之, 山村 修: 高齢者におけるウエスト-下腿周囲径比とFried frailty phenotype questionnaireによるプレフレイル、フレイルとの関連性, 第11回日本サルコペニア・フレイル学会大会, 東京, 20241103

e. 一般講演

24024 吉川 大介,野上 宗伸,井川 正道,森 哲也,牧野 顕,清野 泰,辻川 哲也,岡沢 秀彦: アミロイドPETの視覚評価とセンチロイド(CL)の陽性率の比較, 第64回日本核医学会学術総会, 横浜, 20241107

24025 北崎 佑樹,白藤 法道, 高久 直子, 山口 智久, 榎本 崇一,井川 正道, 山村 修, 渡邉 裕美子, 濱野 忠則: 大腿脂肪肉腫による抗SOX1抗体陽性の傍腫瘍性ニューロパチーと診断し免疫グロブリン大量点滴静注(IVIG)療法が奏功した1例, 第36回日本神経免疫学会学術集会, 富山, 20241004

24026 山田継太, 遠藤 芳徳, 北崎 佑樹, 堀内 裕介, 前田 良太, 佐々木 宏仁, 榎本 崇一, 井川 正道, 山村 修, 濱野 忠則: 鶏レバーの生食後に発症し、人工呼吸器管理を要した重症Guillain Barre症候群の2症例, 第28回日本神経感染症学会総会・学術大会, 東京, 20241011

24027 北崎 佑樹, 遠藤 芳徳, 榎本 崇一, 山村 修, 濱野 忠則, 辻川 哲也, 岡沢 秀彦, 木村 浩彦, 井川 正道: 脊髄小脳変性症における多系統萎縮症の鑑別においてASLによる小脳CBF値の評価が有用である, 第67回日本脳循環代謝学会学術集会, 富山, 20241101

f. その他

(3) 国内学会（地方レベル）

a. 招待・特別講演等

24028 井川 正道: 認知症の PET 診断とリハビリテーションへの期待, 第56回日本リハビリテーション医学会北陸地方会, 福井, 20240907

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演（口演）

24029 遠藤 芳徳, 堀内 裕介, 佐々木 宏仁, 北崎 佑樹, 榎本 崇一, 井川 正道, 山村 修, 濱野 忠則: メロペネムで治療し得たリステリア髄膜炎の1例, 第169回日本神経学会東海北陸地方会, 愛知, 20240706

24030 遠藤 芳徳, 眞田 采也加, 佐々木 宏仁, 北崎 佑樹, 榎本 崇一, 井川 正道,山村 修, 野 忠則: 痙攣が先行し,亜急性に発症した自己免疫性脳炎の1例, 第170回日本神経学会東海北陸地方会, 石川, 20241116

24031 奥野貴士, 湯浅光織 , 大嶋勇成, 川村裕士, 池田和美, 玉村千代, 前田浩幸, 井川正道, 渡邉淳: 未診断疾患イニシアチブ(IRUD)で診断に至ったムコ多糖症Ⅶ型の重症新生児例, 第44回北陸臨床遺伝研究会, 石川, 20240303

24032 山口 智久,池田 和美,五十嵐 愛子,勝木 歩,上野 亜佐子,玉村 千代,奥野 貴士,前田 浩幸,井川 正道: 脳梗塞とくも膜下出血(SAH)の併発を契機に血管型エーラスダンロス症候群(vEDS)と診断した一例, 第44回北陸臨床遺伝研究会, 石川, 20240303

24033 池田 和美,玉村 千代,江坂 有希恵,鈴木 隆,鈴木 秀文,奥野 貴士,前田 浩幸,吉田 好雄 ,井川 正道: 福井県における無侵襲的出生前遺伝学的検査 (NIPT)の現状と施設間連携に関す る活動報告, 第44回北陸臨床遺伝研究会, 石川, 20240303

24034 堀内 裕介, 佐々木 宏仁, 榎本 崇一, 北崎 佑樹, 遠藤 芳徳, 井川 正道, 山村 修, 濱野 忠則: 視神経炎が先行したMOG抗体関連疾患の1例, 第168回日本神経学会東海北陸地方会, 愛知, 20240309

24035 山口智久, 井川 正道, 池田 和美, 勝木 歩, 上野 亜佐子: 脳梗塞とくも膜下出血(SAH)の併発を認め,血管型エーラスダンロス症候群(vEDS)と診断した一例, 第169回日本神経学会東海北陸地方会, 愛知, 20240706

d. 一般講演（ポスター）

e. 一般講演

f. その他

(4) その他の研究会・集会

a. 招待・特別講演等

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演（口演）

d. 一般講演（ポスター）

e. 一般講演

f. その他

(C) 特許等

区分	内容（発明の名称）	発明者又は考案者

(D) その他業績

4. グラント取得

(A) 科研費・研究助成金等

区分	プロジェクト名	研究課題名	代表者名	分担者名	研究期間	金額（配分額）

区分	研究種目	課題名	代表者名	分担者名	研究期間	金額（配分額）
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)	グルタミン酸受容体・AD病理の包括的脳PET/MRIによるアルツハイマー病の病態解明	井川 正道	岡沢 秀彦,小坂 浩隆	20230401-20260331	¥1,560,000
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)	グルタミン酸受容体・AD病理の包括的脳PET/MRIによるアルツハイマー病の病態解明	井川 正道	岡沢 秀彦,小坂 浩隆	20230401-20260331	¥1,560,000
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)	グルタミン酸受容体・AD病理の包括的脳PET/MRIによるアルツハイマー病の病態解明	井川 正道	岡沢 秀彦,小坂 浩隆	20230401-20260331	¥1,560,000
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)	グルタミン酸受容体・AD病理の包括的脳PET/MRIによるアルツハイマー病の病態解明	井川 正道	岡沢 秀彦,小坂 浩隆	20230401-20260331	¥1,560,000

文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)	自己免疫性脳炎における抗神経抗体のCBAに代わる新規迅速・定量的測定法の開発	松永　晶子	矢口 裕章,米田 誠	20230401-20260331	¥1,170,000
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)	自己免疫性脳炎における抗神経抗体のCBAに代わる新規迅速・定量的測定法の開発	松永　晶子	矢口 裕章,米田 誠	20230401-20260331	¥1,170,000

区分	機関名	課題名	研究者名	研究期間	契約金額

区分	機関名	課題名	研究者名	研究期間	契約金額

(B)　奨学寄附金

受入件数	0
受入金額	¥0

5.その他の研究関連活動

(A)　学会開催等

区分	主催・共催の別	学会名	開催日	開催地

(B)　学会の実績

学会の名称	役職	氏名
日本人類遺伝学会	評議員	井川　正道
北陸 Neurologist Meeting 世話人会	世話人	井川　正道
日本ミトコンドリア学会	評議員	井川　正道
北陸臨床遺伝研究会	世話人	井川　正道
日本神経治療学会	評議員	井川　正道
北陸 Neurologist Meeting	世話人	井川　正道
日本ミトコンドリア学会	評議員	井川　正道
日本神経治療学会	評議員	井川　正道
日本人類遺伝学会	評議員	井川　正道
北陸臨床遺伝研究会	世話人	井川　正道
日本脳循環代謝学会	代議員	井川　正道
日本神経学会	代議員	井川　正道
未診断疾患イニシアチブ（IRUD） 臨床専門分科会（神経・筋疾患）・北陸IRUD診断委員会	委員	井川　正道
Mitochondrion誌（Elsevier社）人類遺伝学会	Editorial Board Member	井川　正道
日本内科学会専門医部会北陸支部	役員	井川　正道

(C)　座長

国内学会（全国レベル）	学会名	氏名
一般講演（口演）	第44回北陸臨床遺伝研究会	井川　正道
招待・特別講演等	第44回北陸臨床遺伝研究会	井川　正道
一般講演（口演）	第44回北陸臨床遺伝研究会	井川　正道
招待・特別講演等	第44回北陸臨床遺伝研究会	井川　正道

(D)　学術雑誌等の編集

学術雑誌等の名称	査読・編集	委員長（主査）・委員の別	氏名	査読編数
Frontiers in Molecular Neuroscience	査読		井川　正道	1
Journal of the Neurological	査読		井川　正道	1
Mitochondrion	編集	委員	井川　正道	1
Mitochondrion	編集	委員	井川　正道	1
Frontiers in Molecular Neuroscience	査読		井川　正道	1
Journal of the Neurological	査読		井川　正道	1

(E)　その他

24036　歩いて健康　やればできる　福井でキックオフ　来月から「はぴウォーク」（日刊県民福井），20240822
24037　歩いて健康　最初の一歩　福井「はぴウォーク」催しに250人（中日新聞），20240821
24038　健康へ　早歩きを習慣に　県、来月から「はぴウォーク」（福井新聞），20240820

6.産業・社会への貢献

(A)　国・地域等への貢献

(1) 審議会・委員会・公益法人・会社等への参加状況

区分	機関の名称等	委員会の名称等・役割	氏名	期間
	福井県土木部建築住宅課	福井県ゼロカーボン・ウェルネス住宅（仮称）基準策定員会委員		20240601-20250331
	福井県立大学	研究利益相反審査委員会委員		20240401-20260331

(2) 社会人等への貢献及び学校等との連携・協力による活動

区分	活動名・活動内容	主催者・対象者等	氏名

（B）国際貢献

国際協力事業

活動名・活動内容	氏名	相手方機関名	役割	期間	活動国名

（C）その他業績

（D）特記事項